

化学繊維のヒメマルカツオブシムシによる食害について

愛媛大 ○森田 すみ
岩井 和恵
弓達 崎子

1. 近時各種の化学繊維が生産され、その手入保存については各方面から研究されている。その害虫についても、ヒメカツオブシムシや衣蛾による被害はすでに研究されている。しかし家庭で見かける衣料の害虫にはヒメマルカツオブシムシもある。そこでこれによる14種の化繊と3種の天然繊維の織物の食害状態をみた。若しこの場合食害されないものでも、これまでの研究により比較的食害が多くなるとされている、蔗糖や牛乳で汚染されると食害されるかもしれないと考え、これら汚染布の食害量との比較を行なった。

2. 供試布は染色試験用布として市販されている14種の化繊と3種の天然繊維織物を蒸溜水で20分洗浄を行ない、 3cm^2 に切って用いた。これを大きさの揃ったヒメマルカツオブシムシ5匹と共に蓋つきシャーレーに入れ、自然の状態で食害させた。なお蔗糖は5%液、牛乳は市販のものを用いた。

3. 他の害虫ですでに知られているように、一般に食害されないとされている化繊も、極僅かであるが食害される。また牛乳による汚染布の食害は汚染されないものに較べると多いが、蔗糖によるものの食害量は必ずしも多くならない。